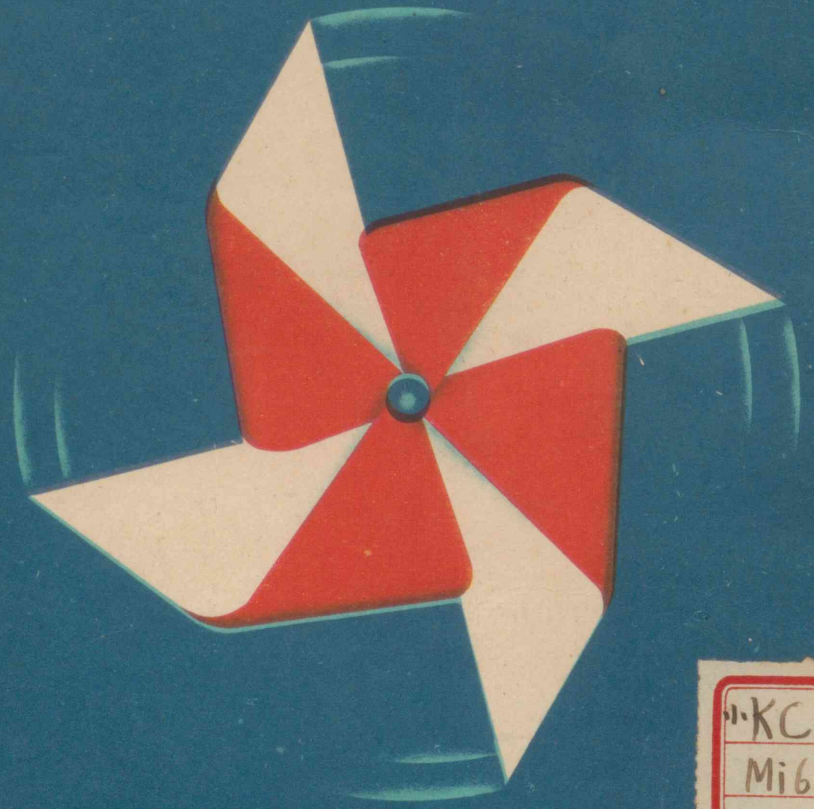


38
光村 小園 108

垣内松三著

かざぐるま

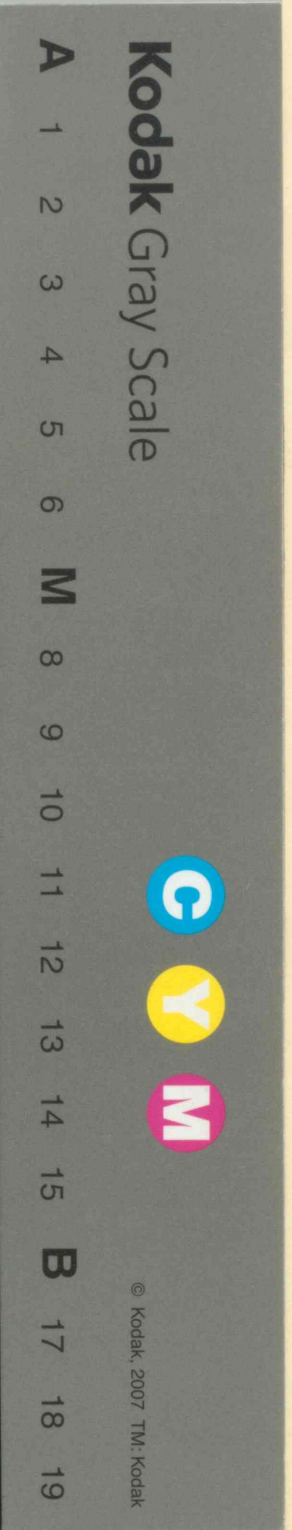
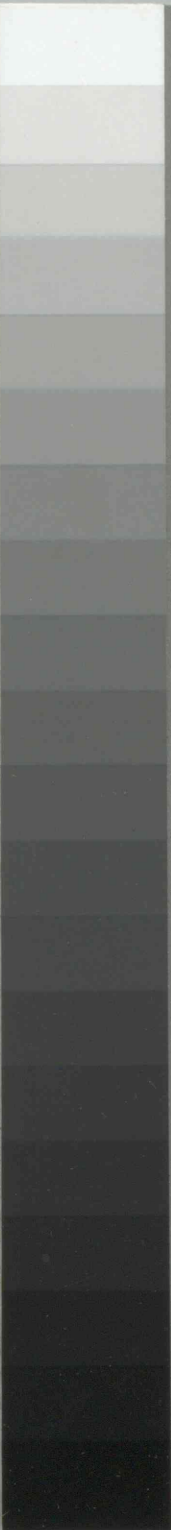
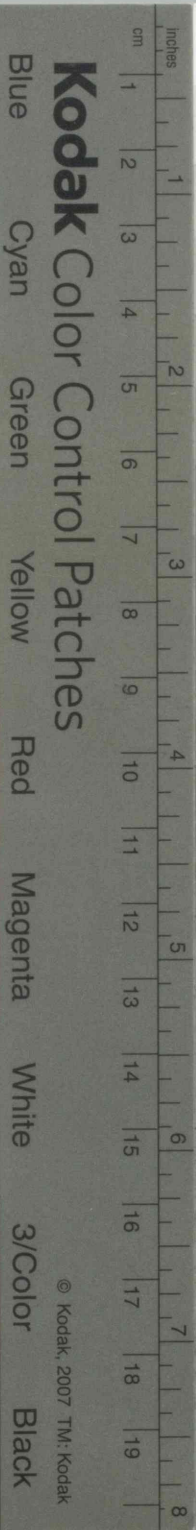
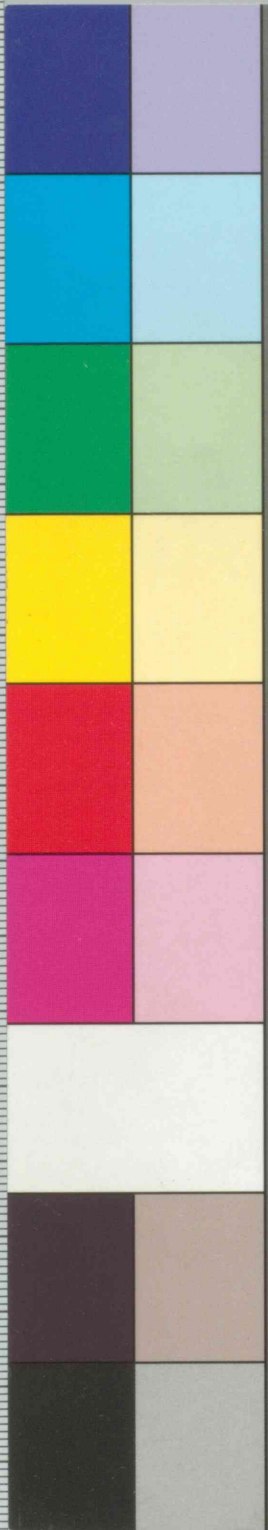
じんこくごーねん 上



KC
Mi65

教科書文庫
6
810
34-1949
0130449655

文部省検定済教科書



60404

教科書文庫

6
810
34-1949
01304
49655



指導者のために

- (一) この本は国語の入門書である。入学当初の児童の発達段階にそって、最も身近な生活に取材し、最も基本的な言語を組織的に排列した。したがって、この本を中心に、「話す」ことを主として、興味を助長しながら、「読み」の心がまえをととのえ、広く豊かな言語生活に導くことが望ましい。
- (二) この本の内容は、登校から下校までの生活のながれで統一してあるが、次の五つの主題にある。「おはよう」は登校の時、「がっこう」は校庭での遊び、「はと」は教師と児童とを結ぶ、「せんせい」は学習のたのしみ、「さようなら」は下校の時の生活に取材した。
- (三) この本に提出した語は、最も基本的なもの六三語で、総用語数は二六三語であるから、均反復率は四、一七に当り、毎頁の新語は二〇三語である。
- (四) この本は入門書であるから、さし絵が非常に重要な位置を占めるが、これについては特別慮した。たとえば、「おはよう」は、まず絵によって人物の動きを見させ、話させ、次第にその言語に結ぶように工夫してあるから、充分留意して活用されたい。
- (五) この本の使用は、四月から五月、おそくも六月中旬までには終了させたい。内容は一日の生活のながれであるが、使用期間に適應させるために、季節の推移をさし絵によって表現したから、地方の実情に即し、児童の個人差を考えて、言語活動を十分に伸ばしてほしい。

広島大学図書

0130449655



贈 寄

かざぐるま

広島大学図書

0130449655



教科書文庫

6

810

34-1949

0130449655

昭和二十四年十月十日
文部省検定済
小学校国語科用



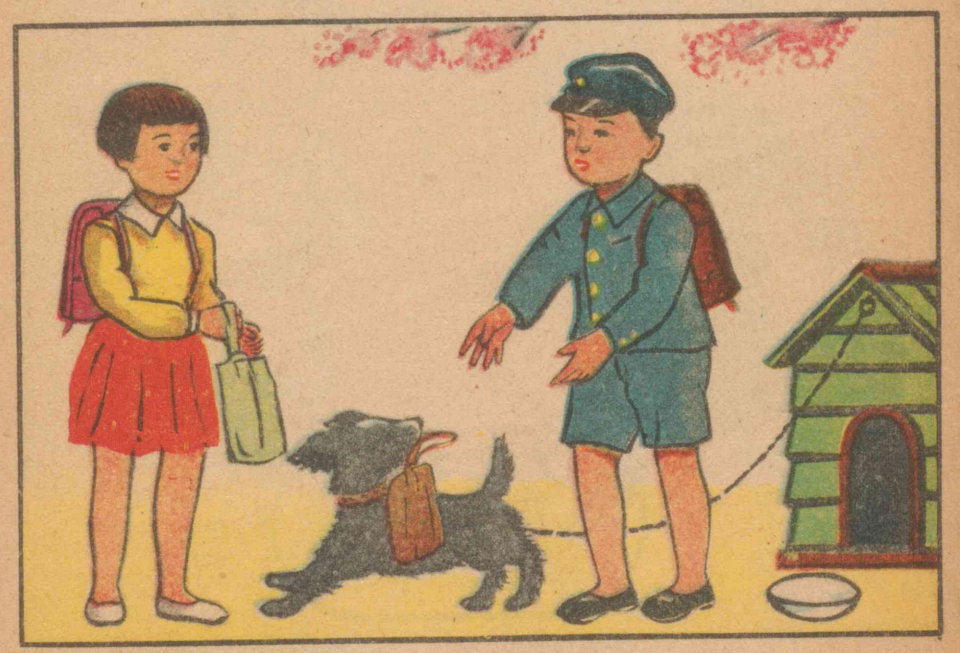
広島大学
教育学部図書

しんこくご

一ねん

上

おはよう



「まさおさん、
おはよう。」
「よしこさん、
おはよう。」



「くろ、
くろ、
わん、わん。」
「くろ、
くろ、
わん、わん。」



「せんせい、
おはよう。」
「みなさん、
おはよう。」
「せんせい、
いきましよう。」
「みなさん、
いきましよう。」



「よしこさん、
いきましよう。」
「まさおさん、
いきましよう。」

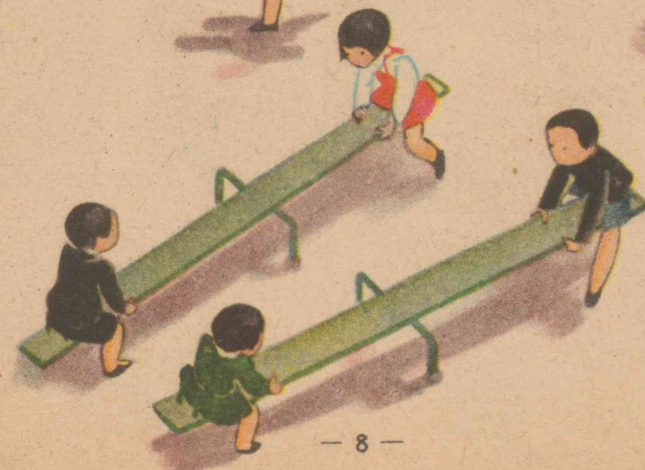


みんな
にここにこ。



がつこう

みんな
げんき。



すべる

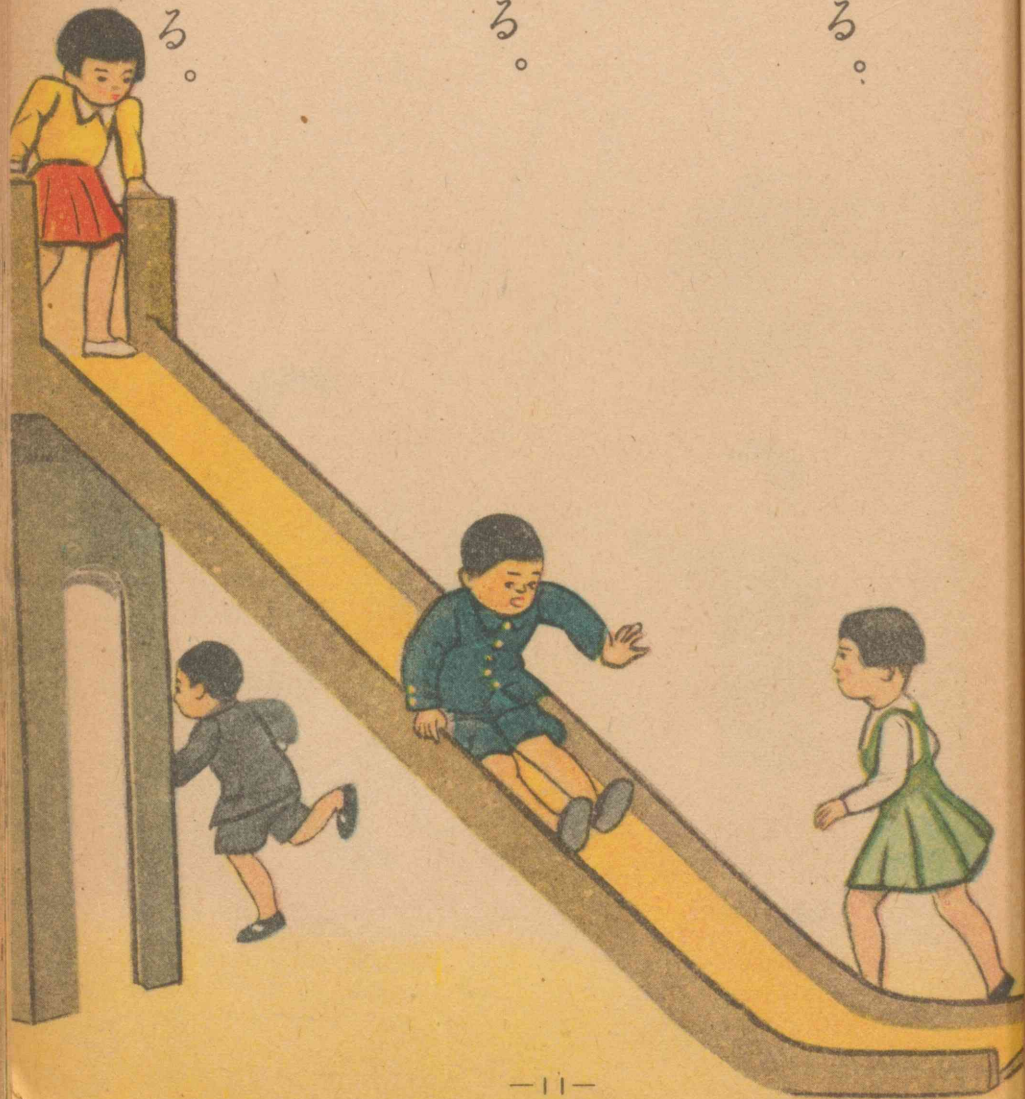
すべる。

するする

すべる。

みんな

すべる。



よしこさん、

あがる。

まさおさん、

さがる。



まさおさん、

あがる。

よしこさん、

さがる。

ゆれる

ゆれる。

ぶらんこ、

ゆれる。

おひさま、

ゆれる。



かけっこ

しましう。

まさおさんも

しましう。

よしこさんも

しましう。

みんなで

しましう。



は
と

「せんせい、

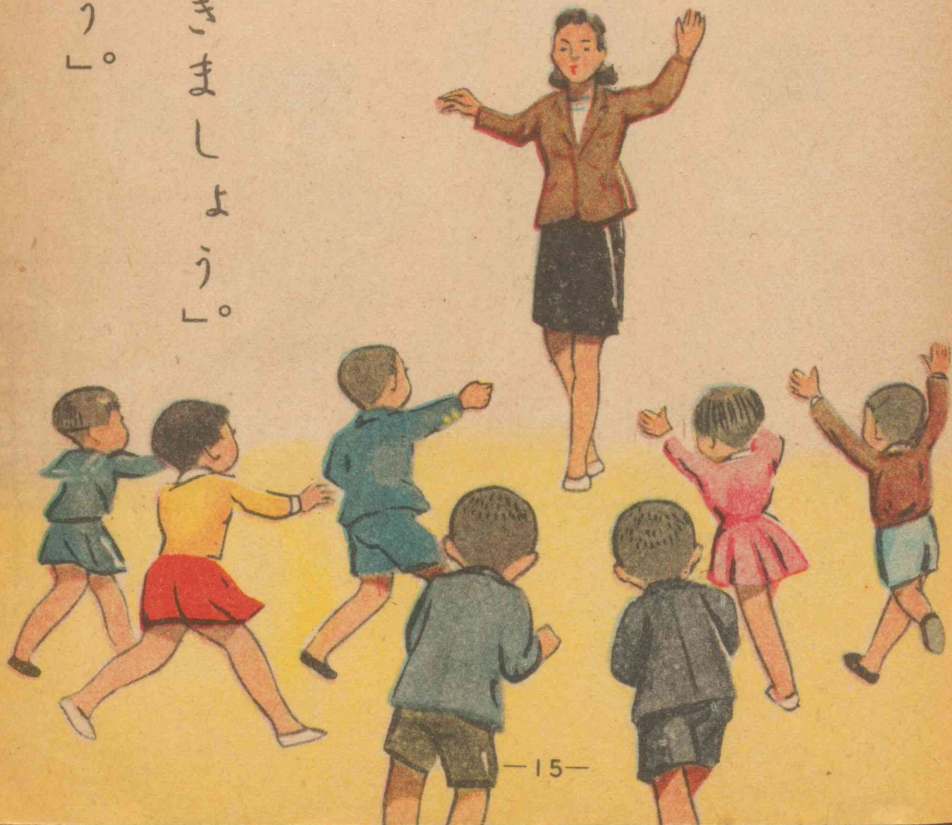
いきましたよう。」

「みなさん、

いきましたよう。」

「はとを　みに　いきましたよう。」

「はい、いきましたよう。」



まさおさんが

のぼる。

よしこさんが

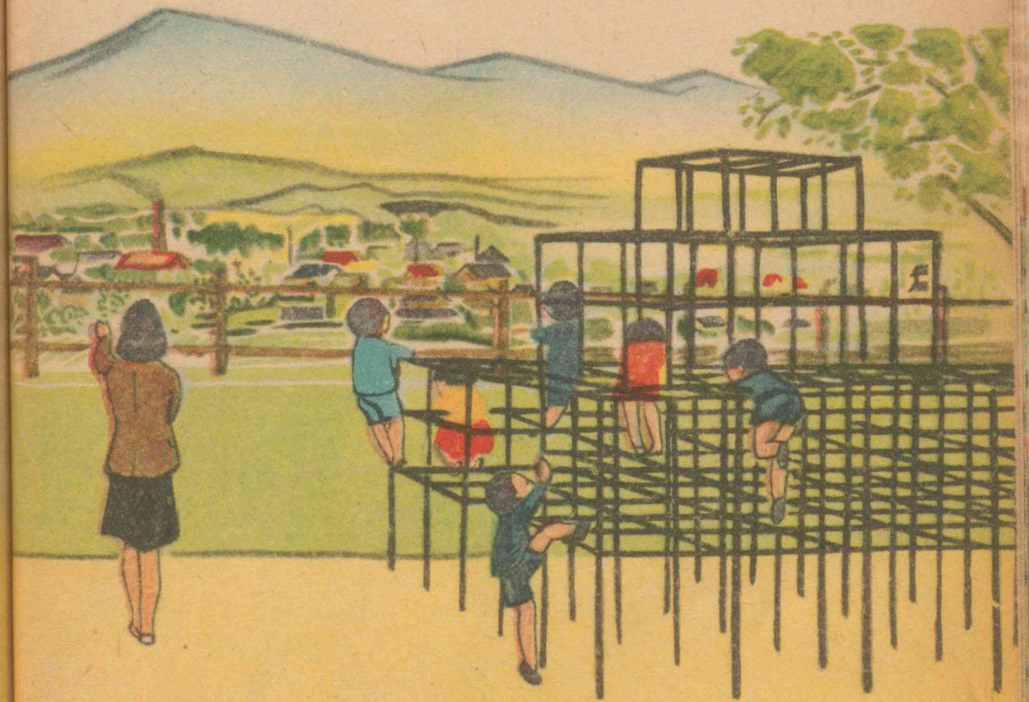
のぼる。

「みえる

みえる。」

「なにが

みえる。」



あおい、
あおい、
そら。

たかい、
たかい、
そら。



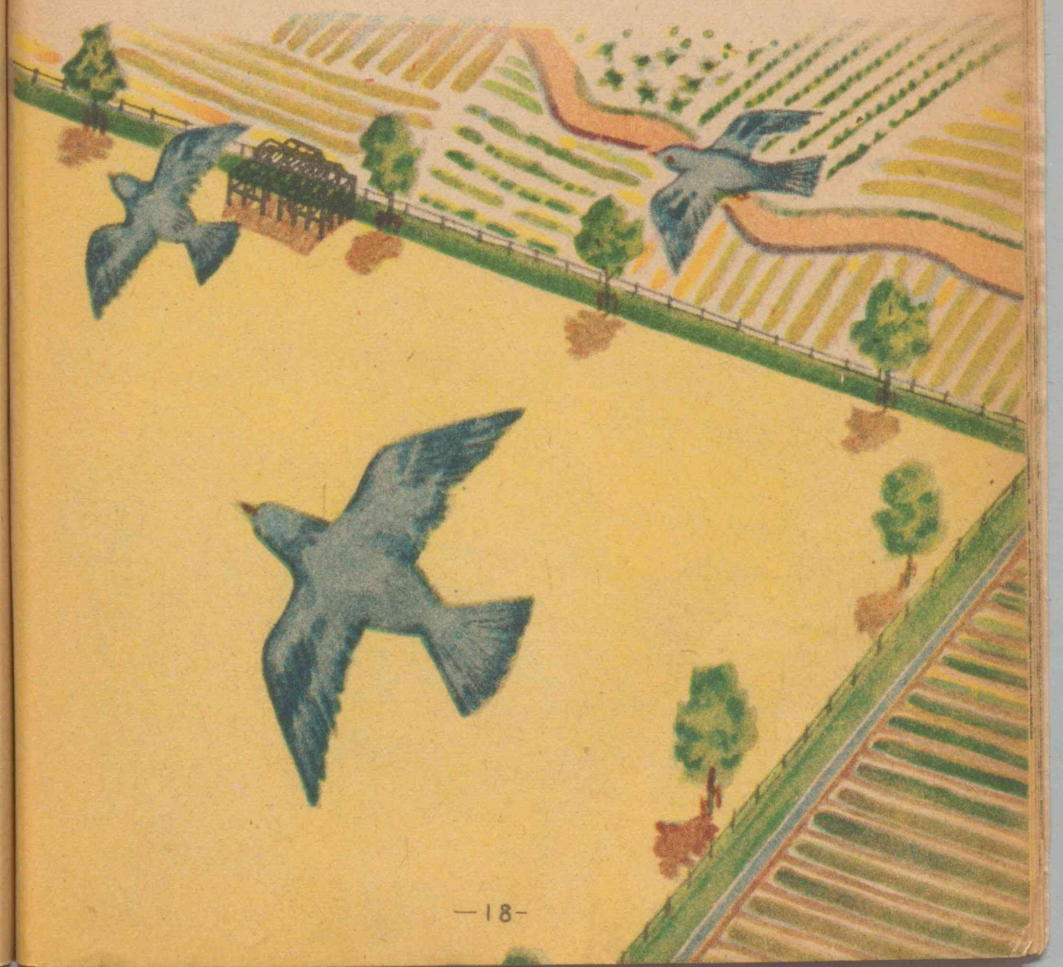
せんせいの
かげは、
おおきい。
みんなの
かげは、
ちいさい。



あおい
そら。
はねが
ひかるよ。
あおい
そら。



はとが
とんでる。
あおい
そら。
たかく
とんでる。
あおい
そら。



はとが、

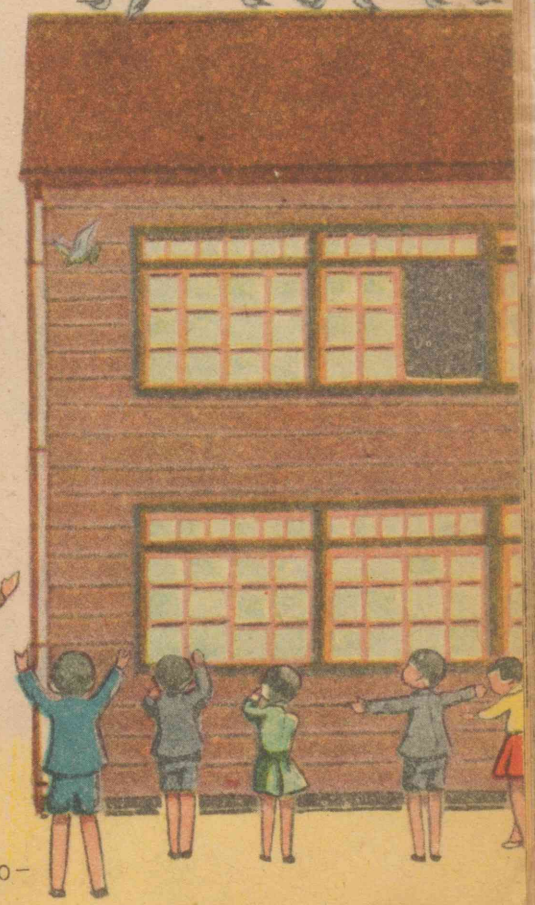
やねに

とまりました。

はとが、

やねから

おりて きました。



せんせい

せんせいが、

かみしばいを、

みせて

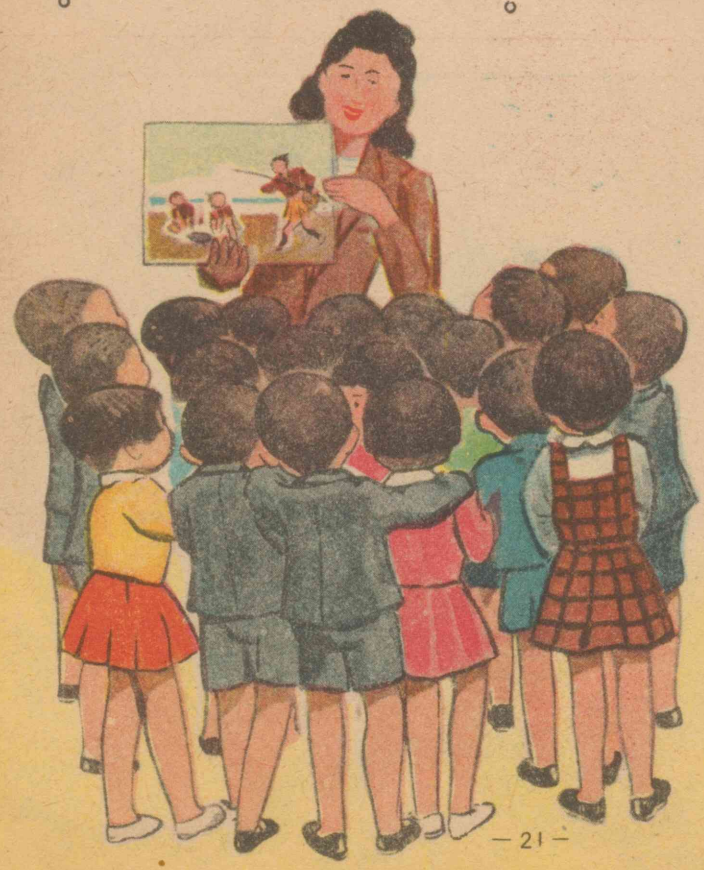
くださいました。

うらしまさんの

かみしばいを、

みせて

くださいました。



うらしまさんは、

かめに のって

いきました。

おおきな

かめに のって

いきました。



あかい さかなが

おどりました。

あおい さかなが

おどりました。

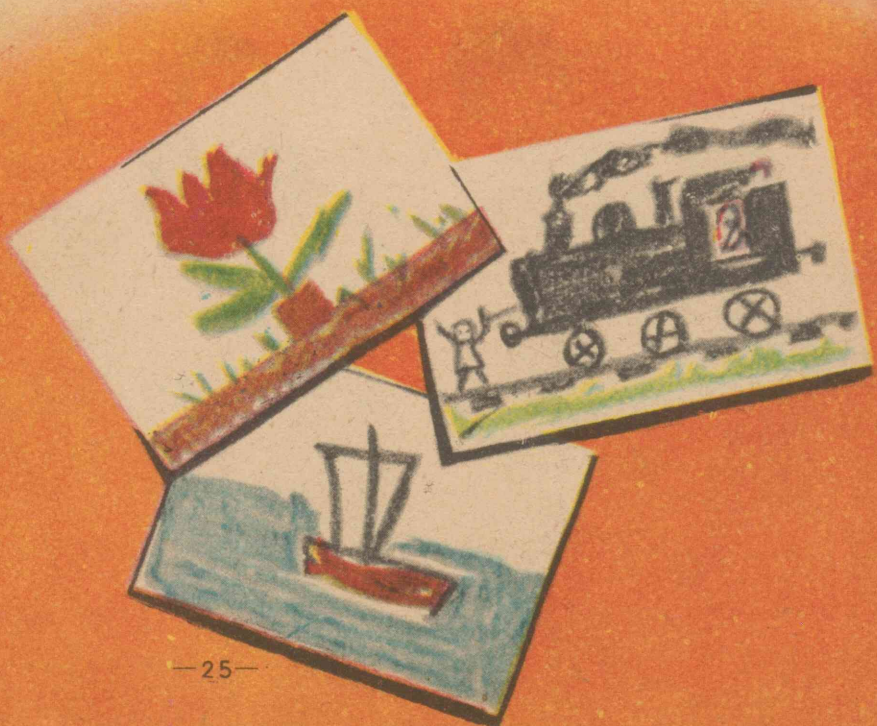
うらしまさんが

よろこびました。



「まさおさんは、
なにを かきますか。
「きしやを かきます」。

「よしこさんは、
なにを かきますか。
「はなを かきます」。



うたいましよう。
はどの うたを
うたいましよう。
まさおさんも
うたいます。
よしこさんも
うたいます。



かざぐるまを

つくりました。

まさおさんは、

あおい いろがみで

つくりました。

よしこさんは、

あかい いろがみで

つくりました。



かざぐるまを、

まわして

あそびました。



あかい かざぐるまが、

くるくる まわりました。

あおい かざぐるまが、

くるくる まわりました。



さようなら

「せんせい、さようなら。」

「みなさん、さようなら。」

「よしこさん、

かえりましよう。」

「まさおさん、

かえりましよう。」

「みなさん、

かえりましよう。」

がっこうは

すき。

ぶらんこがあるから

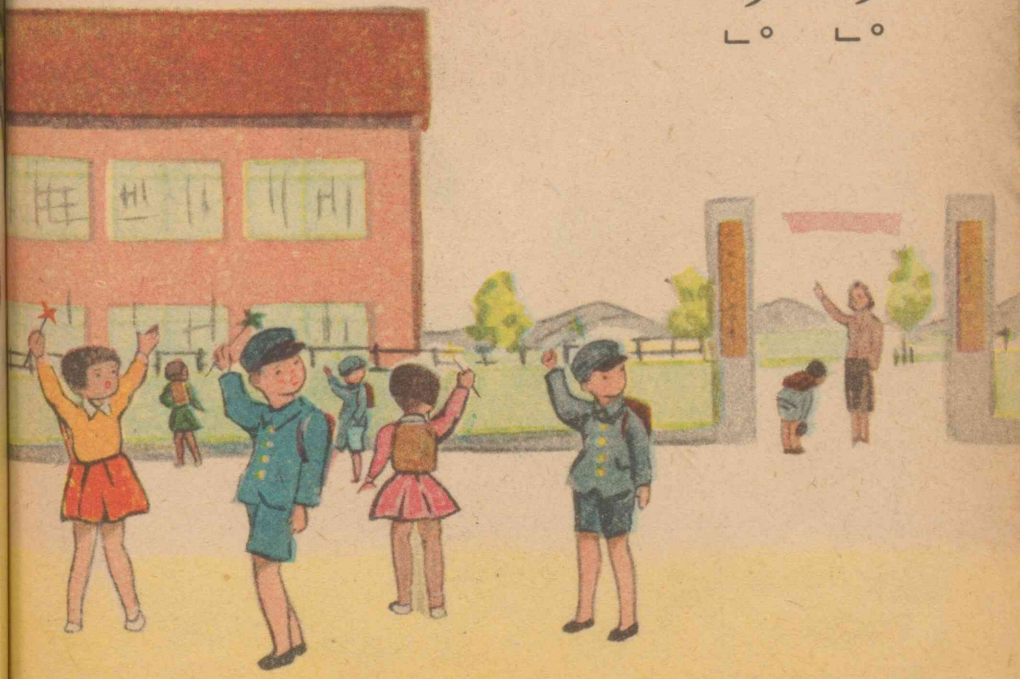
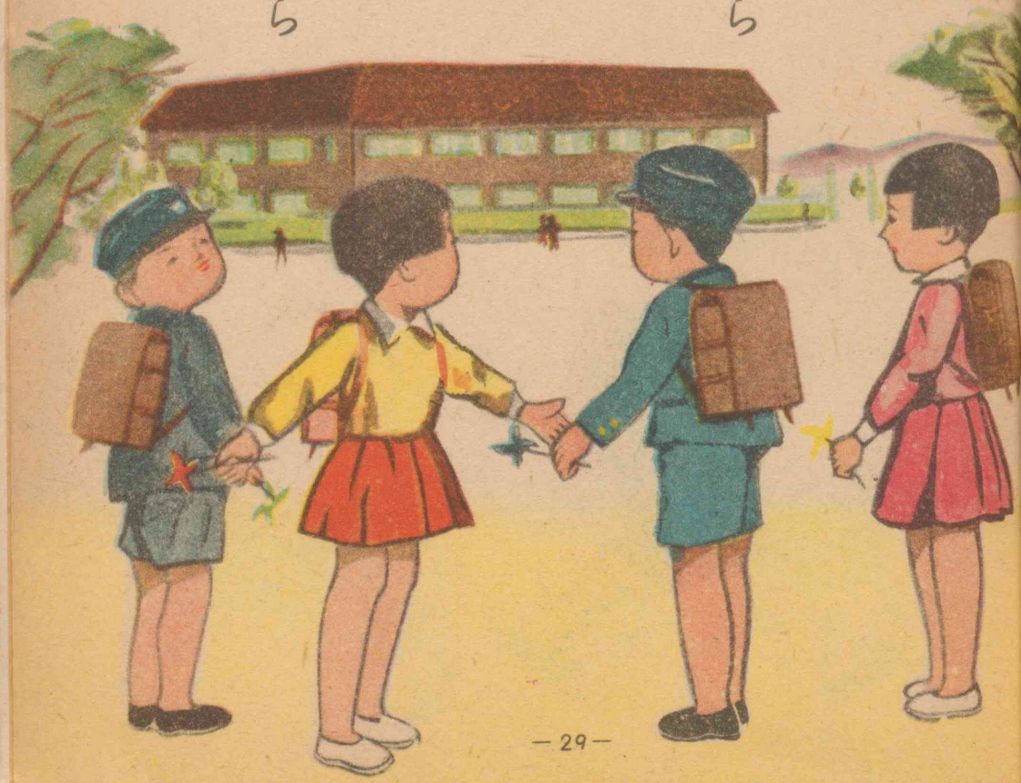
すき。

がっこうは

すき。

ろうかがひろいから

すき。



かぜが

ふいて きました。

かざぐるまを、

まわして かえりました。

「ぎょうなら、

よしこさん」。

「まさおさん、

さようなら」。



「わん、わん」。

「くろ、

ただいま」。



「おかあさん、

ただいま」。

「まさおさん、

おかえりなさい」。



あたらしい ことば

一

そら	おひさま	かぜ	かげ
はな	はと	さかな	かめ
がつこう	きしゃ	やね	ろうか
せんせい	おかあさん	うた	かけっこ
ぶらんこ	かざぐるま	かみしばい	いろがみ
はね	すき	げんき	みなさん
なに			

二

ある しましよう いきました(いきましたよ)
 かえりました(かえりましよう、おかえりなさい)
 い)とまりました みえる(みにいきました)
 みせてくださいました)かきます
 うたいます(うたいましよう)つくりました
 あそびました よろこびました おどりました
 あがる さがる のって のぼる おりてきました
 した すべる ゆれる

まわして(まわりました)とんでる ひ
 かる ふいてきました

三

おおきい(おおきな)ちいさい たかい
 (たかく)ひろい あかい あおい
 みんな おはよう さようなら ただい
 まはひ

わん

するする くるくる にこにこ

四

まさおさん よしこさん うらしまさん
 くら
 がのをにもはでからかよ

さし絵 藤 坂 太 郎
 そうてい 株式会社 光村原版印刷所図案部

上ねご一くごんしん
 まるぐるざか
 小国 108

APPROVED BY MINISTRY OF EDUCATION
 (DATE OCT 22, 1949)

昭和二十四年十月二十二日 印刷
 昭和二十四年十月二十六日 発行
 昭和二十五年九月十四日 再版発行

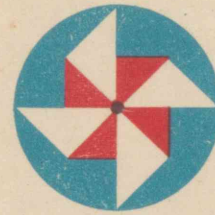
定 価 二 十 二 円 五 十 銭

著 者 垣 内 松 三
 八 木 橋 雄 次 郎

発 行 者 東京都品川区東大崎一丁目五三番地
 光村図書出版株式会社
 代 表 者 大 江 恒 吉

印 刷 者 東京都品川区東大崎一丁目五三番地
 株式会社 光村原版印刷所
 代 表 者 光 村 利 之

発 行 所 東京都品川区東大崎一丁目五三番地
 光村図書出版株式会社



上

なま光

広島大学図書

0130449655



光村図書出版株式会社